

2026 年 10 月 30 日

三菱食品株式会社

サステナビリティ重点課題に基づく

2030 年目標の一部見直し（追加）について

三菱食品株式会社（所在地：東京都文京区、代表取締役社長：伊藤 和男）は、2030 年度を最終年度とする経営計画「MS Vision 2030」のもと、当社パーパスである「食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する」の実現に向け、サステナビリティ経営を推進しています。

近年、環境負荷低減に向けたプラスチック資源循環の促進や廃棄物削減に対する社会的要請が一層高まっており、企業には、その具体的な取り組みと成果が求められています。このような状況下、当社グループは、環境負荷低減に向けた社会的要請への対応及び法令遵守の観点から、プラスチック資源循環の推進に関する明確な目標を設定し、その取り組みをより一層加速・推進するため、「サステナビリティ重点課題に基づく 2030 年目標」の一部見直し（追加）を行いましたので、お知らせいたします。

※追加内容の詳細は下図をご参照ください。

見直し前

重点課題	
環境	
1. 気候変動	2. 資源循環
3. 環境汚染	4. 生物多様性

2030年目標

- ・プラスチック資源循環を推進し、環境に配慮した製品を活用する。

一部見直し（追加）

重点課題	
環境	
1. 気候変動	2. 資源循環
3. 環境汚染	4. 生物多様性

2030年目標

- ・プラスチック資源循環を推進し、環境に配慮した製品を活用する。
- ・プラスチック廃棄量を2024年度対比50%削減する。
- ・排出プラスチックにおけるマテリアル・ケミカルリサイクル率を75%とする。

以 上